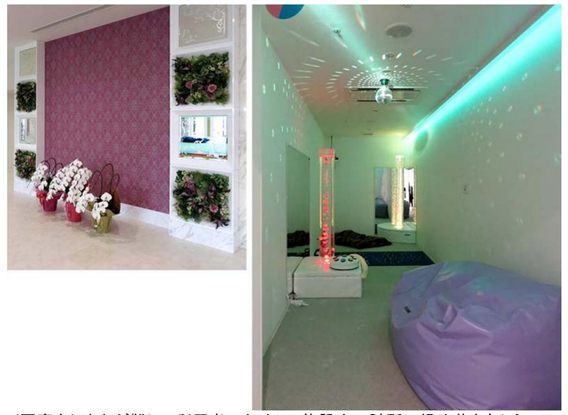
一宮医療療育センター

TOTO

外観

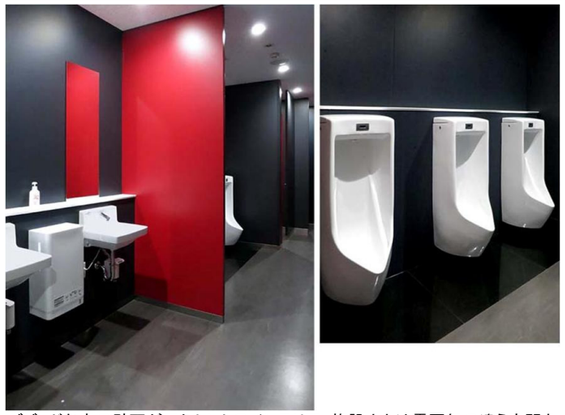
愛知県北西部の一宮市に位置する。一宮医療療育センターと同じく、社会福祉法人杏嶺会が運営する尾西記念病院に隣接し、利用者の医療的ケアで連携している。

内観



（写真左）外出が難しい利用者のために、施設内の随所に緑や花をあしらっている。（写真右）光、音、におい、触覚などの五感の感覚刺激により、トータルリラグゼーションを提供する部屋＝スヌーズレン室。

1F　男性職員トイレ



ビビッドな赤の壁面がアクセントのインテリア。施設内とは雰囲気の違う空間を演出し、スタッフからは気分転換ができると好評。
床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用している。

1F　女性職員トイレ

鮮やかなピンクをアクセントにした、やさしい印象の女性職員用のトイレインテリア。手洗い後の床への水垂れを抑えるため洗面器の間にクリーンドライを設置している。

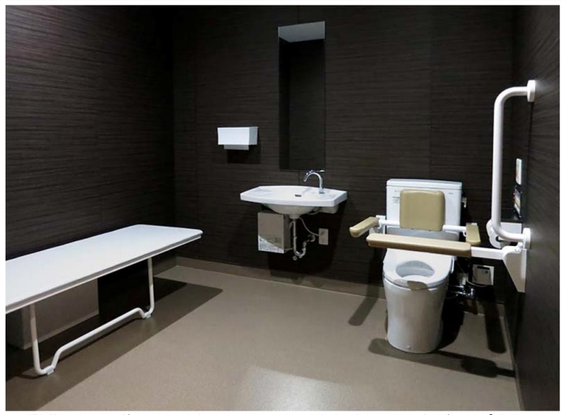
1F　外来者用　トイレ入口

葉や花をテーマをモチーフにしたすりガラスの壁面。トイレ内の雰囲気を感じられる開放的で明るい入口。

1F　外来者用　多機能トイレ

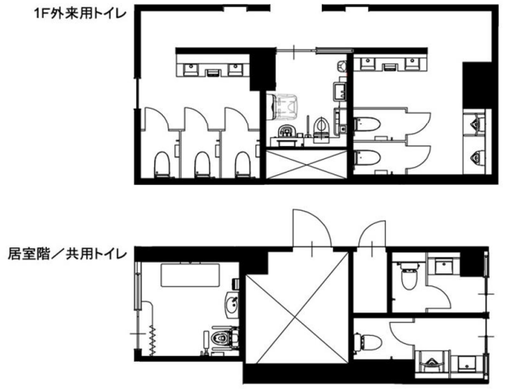
車いす使用者やオストメイトの方にも配慮し、デザイン性・機能性を兼ね備えたRESTROOM ITEM 01のフラットカウンター多機能トイレパックを採用。
乳幼児連れにも配慮し、ベビーシート・ベビーチェアも完備。

居室階　共用トイレ



居室階に1ヶ所ずつ設けられた共用トイレ。I型手すり・跳ねあげタイプの手すりのほか、座位の安定をサポートする背もたれと前方ボードを採用。おむつ替えにも対応可能な多目的収納シートも設置。

図面



1Fの外来用トイレは、車いす使用者、お子様連れ、オストメイトなど幅広い利用者に対応できる設備を完備。居室階共用トイレは、入居者の身体状況に応じて利用できるように前方ボードや大型ベッドを採用。

1F　外来者用　男性トイレ

手洗いから乾燥までスムーズに行えるように配慮し、洗面器の間にクリーンドライを設置。小便器の1ヶ所には姿勢維持をサポートする手すりを設け、内装材はダークな木目調で上質な雰囲気を演出している。

1F　外来者用　男性トイレ

菌を分解・除菌する「きれい除菌水」の機能を備えた、ネオレストAHを採用。
洗練されたデザインは、すっきりとした内装の雰囲気にマッチしている。

建築概要

名　　称	一宮医療療育センター
所 在 地	愛知県一宮市冨田字流筋1679番地2
施　　主	社会福祉法人杏嶺会
設　　計	中日設計株式会社
施　　工	大日本土木株式会社名古屋支店
竣工年月	2015年12月

水まわりの特長

＜新築の経緯＞
愛知県尾張西部地区で初めて整備された120床を有する医療型障がい児者入所施設。医療型障がい児者入所施設とは、重度の肢体不自由及び知的障がいのある方（重症心身障がい児者）が入所する施設であり、病院と福祉施設の両機能を持ち合わせる。運営委託された医療法人杏嶺会は、愛知県一宮市を拠点に急性期医療から在宅支援まで一貫した医療で、地域医療・地域介護に携わってきた。県内における他同等施設では、施設運営に民間委託がなされた第1号となる。「人生に寄り添い、ともに育む」をモットーに、細やかなケアの提供を目指している。

＜水まわりの特長＞
さまざまな身体状況の方がおり、居室階に1ヶ所ずつ多目的シート、前方ボードを設置した共用トイレを設けている。寝たきりの方が多く、ほとんどの時間を室内で過ごすため、少しでも快適な生活環境を整えたいという想いのもと、自然をイメージさせるグリーンと華やかな雰囲気のピンクの2色を基調に施設の内装を仕上げている。スタッフ用のトイレは施設内とは異なるカラーで仕上げ、気分転換ができる空間とした。スタッフの職場環境を整えることが、入所者に質の高いサービスを提供することにつながるとの思いを体現する配慮がなされている。

2016.09 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2016 All Rights Reserved　28237